

2026年度(第8回)日本口蓋裂学会認定師認定審査について

— 心理学分野の手引き —

日本口蓋裂学会では、2019年度より認定師資格の認定審査を開始し、2026年度より心理学分野でも認定審査を開始しました。下記の要領に従って、申請者自らの分野での口唇裂・口蓋裂治療と他分野と連携した治療についての代表的な経験症例を提出してもらい、公正に審査を進めることとしています。申請者は、手引き内容に従い、経験が十分判断されるように説明と資料添付を行い、漏れや誤りなく、期限厳守で提出をして下さい。

尚、歯科領域に関する用語に関しては、下記を参照して下さい。

日本歯科医学会学術用語集 第2版

https://www.jads.jp/assets/pdf/news/181225_01.pdf

2026年6月
認定師認定委員会
委員長 奥本隆行

1. 書式4、5、6の説明

書式4：重点症例記録（PowerPointファイル：項目を同じとし word ファイルでの作成でも可）

主たる担当症例 1 症例

- ・申請者が、心理社会的支援において、評価から支援まで一貫して支援し、終結した症例（口唇裂・口蓋裂に関連する症例に限る）の記録を提出してください。
- ・記述に当たってはどの発達期の支援なのか、以下の1)～7)のうち最も重点的な支援を要した一つの期間を選択して記載の上、発達の視点（生育歴や今後の発達への影響）をふまえて記述してください。
- ・重要症例における評価から終結までとは、例えば手術前後の患者さんやご家族の不安、患者さんの学校、適応に関する課題とその対応、を指す。

1) 家族支援、2) 周産期（産前産後、出生前診断）、3) 乳児期～幼児期（口唇形成術、口蓋形成術含む）、4) 幼児期～児童期（顎裂骨移植手術含む）、5) 児童期～思春期、6) 思春期～青年期（鼻や口の審美的修正術含む）、7) 成人期

【記録を作成する際の注意点：重点症例、ミニレポート共通】

<全体>

- ・ a)基本情報（年齢、性別、家族構成、診断名、手術歴）、b)心理学的評価と支援（主訴、面接

や検査などで得られたもの、支援方針、心理社会的支援の過程)、c)地域連携、d)他職種との連携体制、e)その他特記事項などを項目に分けて記載してください。

小見出しなどをつけて簡潔な記述を心がけてください。

- ・患者名や生年月日などの個人情報や、具体的な施設名は入れないよう表記を工夫してください(Aさん、A病院など)。
- ・評価に用いた評価法(検査名)や評価の基準がわかるように記載してください。
- ・誤字脱字に留意し、英数字は半角で統一してください。
- ・用語は書籍や文献などで確認し、教科書等で一般的に使用されている語や表記を使用してください。
- ・図表のタイトルは、表は上に、図は下に書いてください。

a) 基本情報

- ・年齢はレポート作成時または最終支援時を記載してください。
- ・家族構成は同居家族の他、育児資源となる別居家族についても記載してください。
- ・手術歴はレポート作成時までに施行された手術を記載してください(口唇形成術、口蓋形成術、瘻孔閉鎖術、顎裂部骨移植術など)

b) 心理学的評価と支援

- ・患児や養育者からの主訴、心理面接や検査等から得られた心理学的評価、支援方針、支援の過程について分けて記載してください。
- ・検査を使用した場合は検査名を記載してください。(例:EPDS、BDI-IIなど)

c) 地域連携

- ・園・学校や行政など地域と連携している場合には、どのような機関とどんな点について連携・支援をしたか、明記してください。

d) 多職種連携

- ・どの職種と、どのような観点においてどんな連携を行ったか、明記してください。またその連携の結果得られたものについても記載してください。

e) その他特記事項

- ・上記項目に該当しない、重要な事項について記載してください。

書式5：報告症例記録 (Word ファイル)

ミニレポート 5 症例 (口唇裂・口蓋裂に関連するもの)

- ・申請者が、心理社会的支援に関係した症例の記録を提出して下さい。
- ・各ミニレポートについて、500～600字以内で記載してください。
- ・症例は全て別のものを報告してください。
- ・記述に当たっては、①患児・家族との関係作り、②患児・家族への心理教育、③問題に対する

- ケースフォーミュレーション、④介入と介入に対する評価、⑤再発予防と終結の5つの観点にわけて記載してください。その際、どの観点について記載したのか、必ず明記してください。
- ・症例の年齢はレポート作成時または最終支援時の年齢を記載してください。
 - ・ミニレポートについては支援が終了していなくても構いません。
 - ・資料がある場合は、資料を添付してください。

書式6：業績目録

- ・申請者の下記条件の業績を列記してください。

1) 心理社会的支援に関する筆頭あるいは共同著者の論文または著作1件。いずれも、口唇裂・口蓋裂の心理社会的支援に関する内容とする。論文は、医学雑誌、学術雑誌に掲載された査読を経たものに限る（紀要を除く）。

なお、特例制度期間中は、査読の有無については問わない。

2) 心理社会的支援に関する学会、研究会などの発表で、代表的なもの2件。2件のうち、1件は日本口蓋裂学会の筆頭発表であること。その他1件は他学会等の発表でも良い（共同発表者でも可）。

- ・上記1)もしくは2)のどちらかを記入して下さい。両方ある場合は両方書いても構いません。
- ・注意事項を守って記入し、自署、捺印をしてください。

書式7：受講修了証

- ・心理社会的支援推進委員会開催の心理社会的支援セミナーの受講修了証を提出すること。

*なお、暫定措置として今年度書式7は不要とする。

2. 問い合わせ、送付先

症例内容などの学術的質問や申請ファイル（PowerPoint、Word）や書類の記入方法や申請方法などについては、日本口蓋裂学会事務局にお問い合わせください。

1) 認定師認定委員会 心理学分野委員（#は分野責任者）

- # 松本 学 共愛学園前橋国際大学・東北大学病院
- ・小堀彩子 大正大学

2) 日本口蓋裂学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番12号
新宿ラムダックスビル (株)春恒社学会事業部内

jcpa-office@shunkosha.com（メールでお問い合わせください）